参考資料 汎用形分電盤A

8.11難燃性試験 JSIA300による。 8.12防水性試験 JSIA300による。

9 検査 9.1形式検査 JSIA300による。 9.2受渡検査 JSIA300による。

10 表示 JSIA300による。 なお、図2に代表的な表示例を示す。

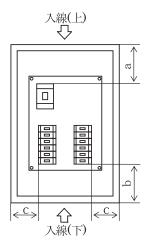
1 φ 3 W
100/200V
80A
10kA
製造年月2000-3
〇〇〇〇株式会社

図 I 一表示 例

付属書A

A.1 基準定格電流に対するガタースペース

基準定格電流に対するガタースペースは、表A.1による。ただし、入線が上部からの場合は表A.2、下部からの場合は表A.3によってもよい。なお、各の寸法は機器の端面からキャビネット内面までの距離とする。



図A.1-ガタースペース

表A.1-ガタースペース

基準定格電流	Я	参考		
A	a	b	С	引込み電線mm ²
60	100	100	50	14
100	140	125	80	38
150	150	140	100	60
200	225	200	100	100
225	250	225	125	150

表A.2-入線が上部からの場合のガタースペース

基準定格電流	Ħ	参考		
A	a	b	С	引込み電線mm²
60	100	75	50	14
100	140	100	80	38
150	150	140	100	60
200	225	150	100	100
225	250	200	125	150

表A.3-入線が下部からの場合のガタースペース

基準定格電流	ل ا	参考		
A	a	b	С	引込み電線mm ²
60	75	100	50	14
100	125	125	80	38
150	140	140	100	60
200	150	200	100	100
225	200	225	125	150

付属書B

B.1 附属品

汎用形分電盤には表B.1の附属品を付属する。なお、製作仕様書、図面などに附属品の内容等が明記されている場合は、製作仕様書、図面などによる。

表B.1-付属品

部 品 名	内 容	個 数		
15. 一种 医二十二	汎用キーの場合 1)	1		
ドア施錠用キー	オリジナルキーの場合	2		
ハンドルロック	_	2以下		
	回路番号ラベル	1シート		
ラベル ²⁾	非常回路ラベル	1シート		
	電圧表示ラベル	1シート		
六角レンチ	必要な場合	1		
ヒューズ	必要な場合	1		
注 ¹⁾ 一般市場においてキー番号200番と呼ばれているもの ²⁾ ラベルの形式については、B.1.1に示す。				

B.1.1ラベル ラベルの形式について、例を次に示す。

非常警報設備		非常警報設備				
誘導灯		誘導灯		-		
漏電火災警報器		漏電火災警報器		報器		
自動	火災警報器			自動火災警報器		
非	非常用照明			非常用照	明	
単三200	単三200	単三200		単三200	単三200	

図B.1-非常回路ラベル・電圧表示ラベル例

汎用形分電盤A (IC1.5kA) 解説

この解説は、本体に規定した事柄及びこれに関連した事柄を解説するもので、規格の一部ではない。

1制定・改定の趣旨及び経緯はじめに分電盤の規格として、JIS C 8480キャビネット形分電盤があるが、JIS C 8370: 1999配線用遮断器附属書2に規定してある住宅用分電盤用配線用遮断器(一般に安全ブレーカと呼称される)を分岐過電流遮断器として使用し、汎用形分電盤として広く利用できるよう規定化したものである。

今回、発行から8年近くも経過したこと、また、引用規格なども変更されていることでもあり、見直しを行ったものである。

- 1.1過去の改正履歴
- a) 2000年3月制定

JSIA300に基づき規定化した主な内容は、次のとおりである。

- 1)適用範囲 この規格おける分岐過電流遮断器の定格遮断電流の最低を1.5kAとしたのは、JIS C 8370: 1999配線用遮断器附属書2に規定してある住宅用分電盤用配線用遮断器(一般に「安全ブレーカ」と呼称される)を分岐過電流遮断器として使用するからである。この遮断器は、住宅用分電盤に限らず、小規模建築物の電灯分電盤にも広く利用されているものである。
- 2) 定格電流JIS C 8480に準じることとした。1998年キャビネット形分電盤JIS C 8480の規格を改正した際、IEC60439シリーズとの整合を考慮し分電盤の定格電流の定義を変更、定格連続使用電流の定義を廃止したため、使用者などに安全に連続通電できる電流値が主過電流遮断器の定格電流の100%であると、誤解を生じることがあるため、解説表1に履歴を記しておく。

JIS C 8480	分電盤の定格電流	定格連続使用電流	基準定格電流	
1989年 1995年	定義:銘板に表示された電流	定義:分電盤に連続して安全に通 電することができる電流	_	
	主過電流遮断器の定格電流と等しい 値	分電盤の定格電流の80%		
1998年 ~	定義:銘板に表示された電流で、分 電盤に連続して安全に通電す ることができる電流		定義:分電盤の定格電流を 決定するときにその 基準となる電流であ	
	製造業者が性能によって決定。ただし、主過電流遮断器がある場合、定格電流の80%の値とすることができる。	_	って主過電流遮断器 の場合、その機器に 表示された電流。	

解説表1-定格電流の履歴

定格電流値に80%の値を採用した理由は、米国(UL489: Molded-Case Circuit Breakers, Molded-Case Switches and Circuit-Breaker Enclosures)では、箱入り配線用遮断器における温度試験は、配線用遮断器の最大定格電流の80%を通電して実施することとしている。さらに、キャビネット内で遮断器の定格電流で使用すると、各過電流遮断器などの発熱によって、盤内温度が上昇し、過電流継電器の誤動作を招く原因になることがあり、これらの理由から定格基準電流の80%と規定した。以下、内線規程3605-3分岐回路数3(連続負荷を有する分岐回路の負荷容量)も参考とした。